

京都府および日本脳卒中学会における 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の展開

京都大学医学部附属病院

脳卒中療養支援センター・もやもや病支援センター

宮本 享

厚生労働省 循環器病総合支援委員会 委員長

一般社団法人 日本脳神経外科学会 理事長

一般社団法人 日本脳卒中学会 名誉会員（法人第V・VI期理事長）

一般社団法人 日本脳卒中医療ケア従事者連合 理事長

京都大学

KU: P



循環器病対策推進基本計画 概要

全体目標

「1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発」「2. 保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実」「3. 循環器病の研究推進」に取り組むことにより、2040年までに3年以上の健康寿命の延伸、年齢調整死亡率の減少を目指して、予防や医療、福祉サービスまで幅広い循環器病対策を総合的に推進する。
(3年間：2020年度～2022年度)

<循環器病※の特徴と対策>

予防

(一次予防、二次予防、三次予防)

急性期

回復期～慢性期

再発・合併症・重症化予防

※脳卒中・心臓病その他の循環器病

個別施策

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備 ▶ 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組み構築

1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

○ 循環器病の発症予防及び重症化予防、子どもの頃から国民への循環器病に関する知識(予防や発症早期の対応等)の普及啓発

2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進 ▶ 特定健康診査・特定保健指導等の普及や実施率向上に向けた取組を推進
- ② 救急搬送体制の整備 ▶ 救急現場から医療機関に、より迅速かつ適切に搬送可能な体制の構築
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築 ▶ 地域の実情に応じた医療提供体制構築
- ④ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援 ▶ 多職種連携し医療、介護、福祉を提供する地域包括ケアシステム構築の推進
- ⑤ リハビリテーション等の取組 ▶ 急性期～回復期、維持期・生活期等の状態や疾患に応じて提供する等の推進
- ⑥ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援 ▶ 科学的根拠に基づく正しい情報提供、患者が相談できる総合的な取組
- ⑦ 循環器病の緩和ケア ▶ 多職種連携・地域連携の下、適切な緩和ケアを治療の初期段階から推進
- ⑧ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援 ▶ 手足の麻痺・失語症・てんかん・高次脳機能障害等の後遺症に対し支援体制整備
- ⑨ 治療と仕事の両立支援・就労支援 ▶ 患者の状況に応じた治療と仕事の両立支援、就労支援等の取組を推進
- ⑩ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策 ▶ 小児期から成人期にかけて必要な医療を切れ目なく行える体制を整備

3. 循環器病の研究推進

- 循環器病の病態解明や予防、診断、治療、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発
- ▶ 基礎研究から診断法・治療法等の開発に資する実用化に向けた研究までを産学連携や医工連携を図りつつ推進
 - ▶ 根拠に基づく政策立案のための研究の推進

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進

- 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化、都道府県による計画の策定、基本計画の評価・見直し 等

健康寿命の延伸・年齢調整死亡率の減少

事業概要

- 循環器病対策推進基本計画で、「保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」として、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を進めていることとしているが、これまでに都道府県が医療計画などで実施している対策よりも幅広い内容（※）であり、各医療施設で個々の取組はされているものの情報が行き渡っていないとはいえず、全ての支援について、十分なレベルで提供することに対して課題がある

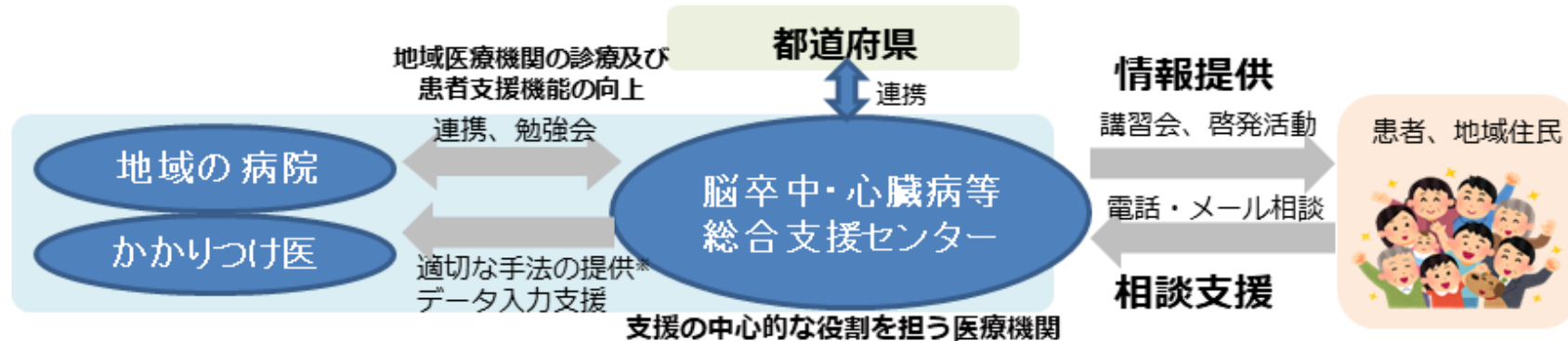
※具体的に、社会連携に基づく循環器病患者支援、リハビリテーション等の取組、循環器病に関する適切な情報提供・相談支援、循環器病の緩和ケア、循環器病の後遺症を有する者に対する支援、治療と仕事の両立支援・就労支援、小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策などが不十分

- この取組を効果的に推進するために、専門的な知識を有し、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、都道府県と連携を取りながら、地域の医療機関と勉強会を開催したり、支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化することで、包括的な支援体制を構築し、地域全体の患者支援体制の充実を図るべく、まずモデル的に、全国に10都道府県程度において先行的に実施し、検証を行う

脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討

<役割> 循環器病に関する情報提供及び相談支援の、地域における核となり中心的な役割を担う



<センターに求められる要件> 支援の中心的な役割を担うことから、各疾患に対して専門的な知識が求められることを想定

- 先天性疾患に対する診療、外来リハビリテーション、緩和ケア等、循環器病に対する総合的な診療を行える施設であり、地域の病院、かかりつけ医などとも密接に連携を取りながら、データ入力の支援等もできること（※詳細はR3年度特別研究で報告）
- 自治体との密な連携が取れ、循環器病の後遺症を有する者に対する支援及び治療と仕事の両立支援・就労支援を行っていること

期待される効果：地域医療機関の診療及び患者支援機能の向上が可能となる

国民がワンストップで必要な情報を得られるとともに、より効率的かつ質の高い支援が可能となる

令和4年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業公募要綱

1. 目的

循環器病対策推進基本計画で、「保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」として、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を進めることとしているが、これまでに都道府県が医療計画などで実施している対策よりも幅広い内容であり、各医療施設で個々の取組はされているものの情報が行き渡っているとはいえず、全ての支援について、十分なレベルで提供することに対して課題がある。

この取組を効果的に推進するためには、専門的な知識を有し、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、都道府県と連携を取りながら、地域の医療機関と勉強会を開催したり、支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化することで、包括的な支援体制を構築し、地域全体の患者支援体制の充実を図るべく、まずは先行的に実施し、検証を行うことを目的とする。

3. 事業内容等

(1) 事業内容

都道府県の循環器病対策推進計画や、循環器病対策推進協議会等の議論も踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。

- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置（電話、メール相談を含む）
 - ・地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
 - ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
 - ・相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
 - ・その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの
- なお、脳卒中・心臓病等総合支援センターが設置される施設は、以下の施策の全てを推進できるように努めること。
- ・循環器病患者・家族等に対し、患者の状態や目的に合わせて、入院および外来でのリハビリテーションも含めた医療・介護・福祉・就労・障害に関する相談支援
 - ・療養上の意思決定や問題解決、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)等に関する情報提供等
 - ・急性期から回復期および維持期（生活期）まで一貫性を持ったリハビリテーション治療の提供等の取組の推進
 - ・循環器病に関する、超高齢社会の対応と地域包括ケアシステムとの協働
 - ・循環器病に関する、疾患、治療、リハビリテーション、介護、心理サポート、就労支援、障害（心機能障害、高次脳機能障害等）、福祉サービスなどに関する適切な情報提供と相談支援
 - ・循環器病患者・家族等に対して、苦痛やその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題への適切な緩和ケアの提供、特に重症例に対し療養と緩和に関する情報提供および支援（精神的なケアを含めた必要な専門領域と連携）
 - ・治療早期からの社会復帰を目指した治療計画、介護・福祉制度の利用と、ピアサポート・患者会等の紹介と連携の支援
 - ・就労を視野に入れた、急性期から維持期まで一貫した医療の連携支援と、個々の患者の状態に応じた就労評価の推進
 - ・医療機関と事業者の連携を支える両立支援コーディネーターを活用した、就労支援・両立支援
 - ・小児期・若年期から成人期までの一貫した循環器病の診療支援
 - ・先天性もしくは小児期発症の脳卒中、心臓病その他の循環器病を持つ患者・家族に対して、専門的な立場からの医療・福祉の情報提供

循環器病総合支援委員会

回数	開催日	議題等	議事録/議事要旨	資料等	開催案内
-	2023年4月6日 (令和5年4月6日)	令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業における事業実施法人の選定結果について	-	▶ PDF 資料 「PDF形式」: 95KB ▶ NEW 4月6日	-
第3回	2023年3月30日 (令和5年3月30日)	(1) 開会 (2) 令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の事業先の選定について (3) その他	▶ 議事要旨 NEW 4月6日	-	▶ 開催案内 NEW 3月30日
第2回 (持ち回り開催)	2022年7月1日 (令和4年7月1日)	脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業実施に係る評価案	▶ 議事要旨	▶ 資料	-
-	2022年6月8日 (令和4年6月8日)	令和4年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業における事業実施法人の選定結果について	-	▶ PDF 資料 「PDF形式」: 57KB ▶ 資料	-
第1回	2022年2月17日 (令和4年2月17日)	(1) 開会 (2) 循環器病総合支援委員会運営について (3) 循環器病総合支援センターモデル事業について (4) その他	▶ 議事録	▶ 資料	▶ 開催案内

政策について

分野別の政策一覧

組織別の政策一覧

各種助成金・奨励金等の制度

審議会・研究会等

審議会・研究会等開催予定一覧

国会会議録

予算および決算・税制の概要

政策評価・独法評価

厚生労働省政策会議

関連リンク

▶ [情報配信サービスメールアドレス登録](#)

▶ [子どものページ](#)

携帯ホームページ

▶ [携帯版ホームページ](#)
では、緊急情報や厚生労働省のご案内などを掲載しています。

行政との連携

地域医療機関・医師会との連携

多職種 地域連携

による当該府県内の

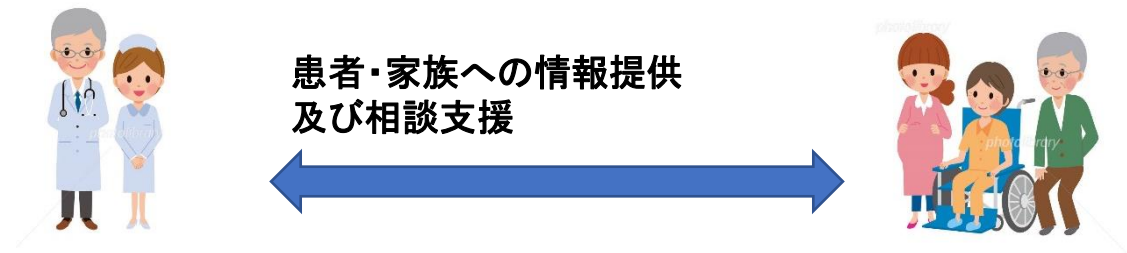
情報提供相談支援体制の充実をめざす

決して病院単独で頑張る活動ではない！

2022年度 PSCコア施設に「脳卒中相談窓口」を設置(日本脳卒中学会)



脳卒中和循環器病克服
第二次5カ年計画
ストップCVD(脳心血管病)
健康長寿を達成するために
2021年3月
日本脳卒中学会 日本循環器学会
日本脳神経科学会 日本循環器科学会 日本高血圧学会 日本小児循環器学会
日本循環器科学会 日本脳神経科学会 日本脳神経科学会 日本脳神経科学会
日本脳神経科学会 日本脳神経科学会 日本脳神経科学会 日本脳神経科学会
日本脳神経科学会 日本脳神経科学会 日本脳神経科学会 日本脳神経科学会
日本脳神経科学会 日本脳神経科学会 日本脳神経科学会 日本脳神経科学会



PSCコアに設置された脳卒中相談窓口は「脳卒中・心臓病等総合支援センター」のローカル版

脳卒中相談窓口で従事する脳卒中療養相談士 のテキスト



脳卒中相談窓口マニュアル

脳卒中相談窓口マニュアル 目次

執筆者	4
はじめに	6
一般社団法人日本脳卒中学会理事長あいさつ	7
1. 脳卒中相談窓口の設置と背景 (一般社団法人日本脳卒中学会)	8
2. 設置場所と求められる職種 (一般社団法人日本脳卒中学会)	10
3. 社会的ニーズに合った具体的な役割 (一般社団法人日本脳卒中学会)	10
4. 相談窓口業務の流れ・時間軸 (一般社団法人日本脳卒中学会)	11
5. 脳卒中療養相談士に求められること	
5-1. 脳卒中診療システムの理解 (一般社団法人日本脳卒中学会)	13
5-2. 脳卒中の予防と合併症などに関する基本的な知識 (一般社団法人日本脳卒中学会)	14
5-3. 服薬アドヒアランスの維持 (一般社団法人日本病院薬剤師会, 公益社団法人日本薬剤師会)	15
5-4. 減塩, 適正体重, 生活習慣病改善などの食事管理について (公益社団法人日本栄養士会)	17
5-5. 地域連携バス (公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)	18
5-6. 地域包括ケアシステムの概略 (一般社団法人日本介護支援専門員協会)	19
5-7. 介護保険制度 (一般社団法人日本介護支援専門員協会)	20
5-8. 各種福祉サービス (一般社団法人日本介護支援専門員協会)	21
5-9. 治療と仕事の両立支援	
1) 治療と仕事の両立支援とは (一般社団法人日本脳卒中学会)	21
2) 就労への支援 (一般社団法人日本作業療法士協会, 公益社団法人日本理学療法士協会)	22
3) 休業中の所得補償など (公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)	23
5-10. 障害者手帳の申請 (公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)	24
5-11. 介護者負担の軽減 (公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)	26
5-12. 高次脳機能障害への支援 (一般社団法人日本言語聴覚士協会, 一般社団法人日本作業療法士協会)	26
5-13. 心理的サポート, 経済的サポート	
1) 看護師から (日本脳神経看護研究会, 日本ニューロサイエンス看護学会)	28
2) 医療ソーシャルワーカーから (公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)	28
5-14. ピアサポート・患者会 (公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)	29
5-15. 必要な社会資源の開発への取り組み (公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)	30
5-16. 受診中断者への支援 (アウトリーチ) (公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)	31
6. リハビリテーションによる長期的な活動や生活の支援	
6-1. リハビリテーション専門職から	
1) 装具・車いす等の作製・修理の制度 (一般社団法人日本神経理学療法学会)	32
2) 福祉用具の効果的な活用と自助具 (一般社団法人日本作業療法士協会)	32
3) 在宅での運動・自主トレーニングに関する制度 (一般社団法人日本神経理学療法学会)	33
6-2. 看護師から (日本ニューロサイエンス看護学会, 日本脳神経看護研究会)	34
6-3. 障害者総合支援法による機能訓練・生活訓練 (若年者を中心に) (一般社団法人日本作業療法士協会, 一般社団法人日本言語聴覚士協会, 公益社団法人日本理学療法士協会)	34
6-4. 介護状態別の地域支援 (軽度の障害高齢者を中心に) (一般社団法人日本作業療法士協会, 一般社団法人日本言語聴覚士協会, 公益社団法人日本理学療法士協会)	35
7. 緩和ケア・意思決定支援 (一般社団法人日本脳卒中学会)	
7-1. 脳卒中における緩和ケアの必要性	36

2

脳卒中相談窓口マニュアル

7-2. 緩和ケアとは	36
7-3. 重症脳卒中急性期における病状や今後の可能性についての説明	36
7-4. 急性期病院入院中の患者および家族等に対する緩和ケア	40
7-5. 急性期病院から回復期/療養型病院に転院する際に説明すべき内容とそれに対する家族等の意思決定支援	41
7-6. 急性期病院から自宅に直接退院後の患者に対する緩和ケア	41
8. 今後の展望・報告と検証 (一般社団法人日本脳卒中学会)	43
9. 協力団体と日本脳卒中医療ケア従事者連合 (一般社団法人日本脳卒中学会)	44
10. 講習会情報 (一般社団法人日本脳卒中学会)	
10-1. 両立支援コーディネーター	45
10-2. 入院時重症患者対応メディエーター	46
さいごに	47

3

一般社団法人 日本脳卒中医療ケア従事者連合

- 一般社団法人 日本脳卒中学会
- 公益社団法人 日本脳卒中協会
- 日本脳神経看護研究学会
- 日本ニューロサイエンス看護学会
- 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会
- 一般社団法人日本介護支援専門員協会
- 一般社団法人日本作業療法士協会
- 公益社団法人日本理学療法士協会
- 一般社団法人日本神経理学療法学会
- 一般社団法人日本言語聴覚士協会
- 公益社団法人日本薬剤師会
- 一般社団法人日本病院薬剤師会
- 公益社団法人 日本栄養士会

- 医師
- 医師・市民(患者)・多職種
- 看護師
- 看護師
- MSW
- ケアマネジャー
- 作業療法士
- 理学療法士(職能)
- 理学療法士(学術)
- 言語聴覚士
- 薬剤師
- 薬剤師
- 管理栄養士・栄養士



役員	
理事長	
宮本 享	日本脳卒中学会 理事
副理事長	
小笠原 邦昭	日本脳卒中学会 理事長
理事	
富永 悌二	日本脳卒中学会 理事
藤本 茂	日本脳卒中学会 理事
峰松 一夫	日本脳卒中協会 理事長
田村 綾子	日本ニューロサイエンス看護学会 副理事長
斉藤 秀之	日本理学療法士協会 会長
山本 伸一	日本作業療法士協会 副会長
立石 雅子	日本言語聴覚士協会 副会長
野口 百香	日本医療ソーシャルワーカー協会 会長
柴口 里則	日本介護支援専門医協会 会長
原 純也	日本栄養士会 常任理事
宮崎 長一郎	日本薬剤師会 副会長
監事	
橋本 洋一郎	日本脳卒中学会 理事
竹川 英宏	日本脳卒中協会 専務理事

脳卒中相談窓口のこれからの展開 (日本脳卒中学会)

- 各都道府県内の **脳卒中相談窓口設置機関**の連携(PSCコア及び一部のPSC)
- 各都道府県内で **多職種・地域連携**を進める
 - とくに、**脳卒中相談担当(窓口)**となっている各施設(急性期・回復期)のMSWの連携
- 各都道府県の **循環器病対策推進協議会及び行政**との連携
- **脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業12施設**の脳卒中責任者担当者会議
 - ✓ 2022年7月22日
 - ✓ 2022年11月28日
 - ✓ 2023年4月18日
 - ✓ 2023年6月17日(令和5年度採択16施設)

京都府における脳卒中・心臓病等総合支援センター
モデル事業の展開

京都府 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

京都府

京都府循環器病
対策推進計画

京都府循環器病対策推進協議会

京都大学医学部附属病院

学会等の関連団体、他府県医療機関との
綿密な連携体制が特徴

脳卒中相談・支援

心臓病相談窓口開設準備

- ・脳卒中療養支援センター（2022年4月設置）
- ・脳卒中専門医と多職種による支援
- ・脳卒中相談マニュアルの活用
- ・もやもや病支援センター
（小児期から成人期まで一貫した支援）
- ・市民公開講座の定期開催、病院HPの活用
- ・地域医療機関対象研修会、勉強会等
- ・脳卒中患者・家族用冊子の開発

循環器病
総合支援
プロジェクト
委員会

モデル事業
の推進と評価を
支援



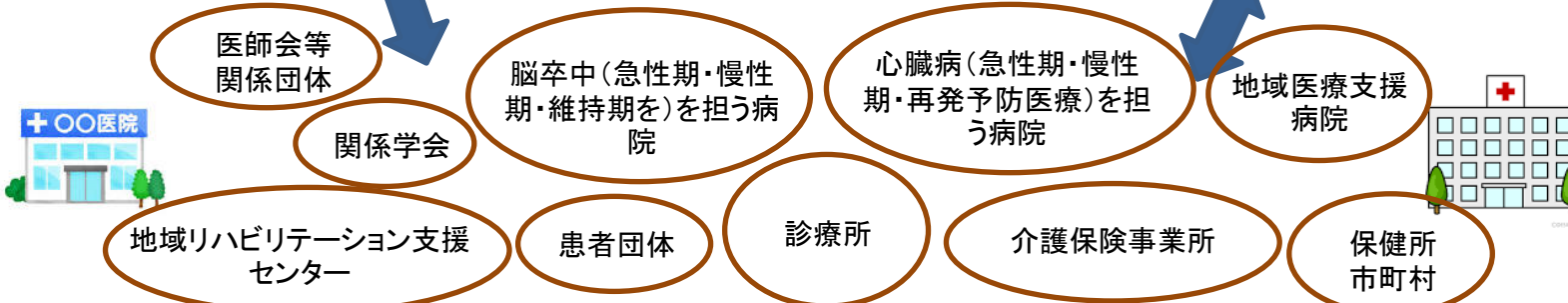
京都府立医科大学附属病院

府内の地域医療ネットワークや近隣府県病院と連携した地域支援体制が特徴

心臓病相談・支援

脳卒中相談窓口併設

- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口設置
- ・京都心不全ネットワーク協議会参加施設によるフォロー
- ・心不全手帳・心不全手帳アプリ版の活用
- ・小児期からの循環器・脳卒中サポート
- ・アドバンス・ケア・プランニングをサポート
- ・リハビリテーション支援センターによる府内リハビリテーションの均てん化
- ・高次脳機能障害の就労支援
- ・パンフレットの作成・YouTube配信等



2つの大学病院の一体的な取組による府内全域の包括的な支援体制モデルを構築



脳卒中・心臓病の ケアと患者支援



参加費
無料

2023年2月4日(土) 14:00~16:00

申込締切
2月1日

オンライン開催 (Zoomウェビナー) / 視聴用会場 (京都府立医科大学 図書館ホール) での視聴も可能です。



脳卒中・心臓病患者さんや
そのご家族が受けられる
支援にご関心のある方



脳卒中・心臓病患者さんへの
医療・ケアを担っておられる方



脳卒中・心臓病患者さんへの
社会的支援を行っておられる方

プログラム

01

京都府における循環器病対策について
～切れ目のない支援を目指して～

京都府健康福祉部 副部長 神田 浩之

02

多職種・地域連携による脳卒中
患者さん・ご家族への相談支援の整備

京都大学医学部附属病院 病院長 宮本 享

03

若年期から高年期までの心血管疾患
患者さん・ご家族への相談支援

京都府立医科大学附属病院
循環器内科診療部長 的場 聖明

04

かかりつけ医による
脳卒中・心不全の再発予防管理

京都府医師会 副会長 谷口 洋子

05

再発しないための薬のみ方

京都府薬剤師会 川口 将義

06

脳卒中・心臓病等
総合支援センターに期待すること

全国心臓病の子供を守る会京都支部
もやの会 (もやもや病患者会) 事務局

1. 共催団体

京都府・京都府医師会・
京都府立医大病院・京大病院

2. 視聴対象

- 生活期にある脳卒中・心臓病の患者と家族など
患者本人はもとより、ケアを行う家族をターゲット
- 脳卒中・心臓病の医療・ケアにあたる医療従事者
- 患者への社会的支援にあたる行政関係者

脳卒中・心臓病等 総合支援センターに期待すること

全国心臓病の子供を守る会京都支部
もやの会 (もやもや病患者会) 事務局

京都府 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

京都府

京都府循環器病
対策推進計画

京都府循環器病対策推進協議会

京都大学医学部附属病院

学会等の関連団体、他府県医療機関との
綿密な連携体制が特徴

脳卒中相談・支援

- ・ 脳卒中療養支援センター（2022年4月設置）
- ・ 脳卒中専門医と多職種による支援
- ・ 脳卒中相談マニュアルの活用
- ・ もやもや病支援センター
（小児期から成人期まで一貫した支援）
- ・ 市民公開講座の定期開催、病院HPの活用
- ・ 地域医療機関対象研修会、勉強会等
- ・ 脳卒中患者・家族用冊子の開発

循環器病
総合支援
プロジェクト
委員会

モデル事業
の推進と評
価を支援



京都府立医科大学附属病院

府内の地域医療ネットワークや近隣府県病
院と連携した地域支援体制が特徴

心臓病相談・支援

- ・ 循環器病患者・家族の相談支援窓口設置
- ・ 京都心不全ネットワーク協議会参加施設による
フォロー
- ・ 心不全手帳・心不全手帳アプリ版の活用
- ・ 小児期からの循環器・脳卒中サポート
- ・ アドバンス・ケア・プランニングをサポート
- ・ リハビリテーション支援センターによる府内
リハビリテーションの均てん化
- ・ 高次脳機能障害の就労支援
- ・ パンフレットの作成・YouTube配信等

①循環器病を予防する健診の普及や取り組みの推進

I. 漫画冊子を作成・配布して疾患啓発と予防



II. 市民公開講座で 高血圧や心房細動の知識普及や心房細動アプリ開発



厚生労働省 第2期循環器病対策推進基本計画 概要

【目標】 2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

【課題】 健康寿命の延伸や健康増進の促進、疾病予防の推進、医療の質の向上、医療費の抑制

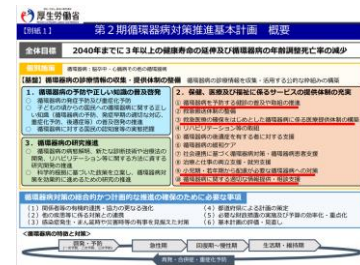
【重点的取り組み】

1. 健康寿命の延伸や健康増進の促進
 - (1) 健康寿命の延伸や健康増進の促進
 - (2) 健康寿命の延伸や健康増進の促進
 - (3) 健康寿命の延伸や健康増進の促進
2. 疾病予防の推進
 - (1) 疾病予防の推進
 - (2) 疾病予防の推進
 - (3) 疾病予防の推進
3. 医療の質の向上、医療費の抑制
 - (1) 医療の質の向上、医療費の抑制
 - (2) 医療の質の向上、医療費の抑制
 - (3) 医療の質の向上、医療費の抑制

資料作成
 の場聖明教授
 (京都府立医科大学循環器内科)

⑨小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

I. 移行期支援用パンフレット作成、配布



資料作成
 の場聖明教授
 (京都府立医科大学循環器内科)

II. 移行期支援センター設置のためのWG設置及び実態把握アンケートの準備

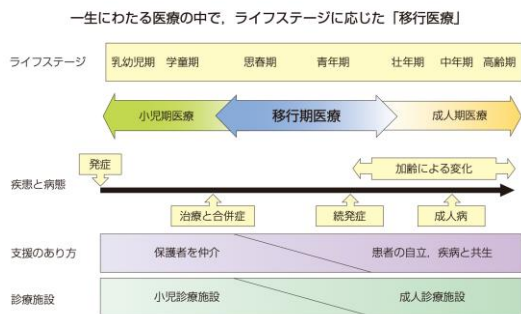


図1 移行医療の概念図

移行期医療アンケート

小児期医療から成人期医療への移行に関してのご意見・ご感想などにご協力願います。このアンケートは個人が特定されない形で集約集計され、京都府立医科大学「移行期医療支援センター」運営のために利用いたします。それ以外の目的で使用されることはありません。

※ 必須の欄です

1. 回答者*

1つだけマークしてください。

患者本人

両親

両親以外の家族

その他

2. 年齢*

3. 性別*

1つだけマークしてください。

男性

女性

4. 通院診療科 (複数選択可)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 小児科
- 小児外科
- 小児心臓血管外科
- 循環器内科
- 内分泌・糖尿病科・代謝内科
- 血液内科
- 脳神経内科
- 産婦人科
- 泌尿器科
- その他: _____

移行期医療に関する二ニ一調査

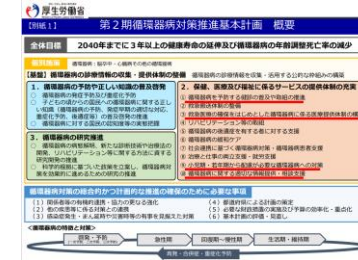
小児期医療から成人期医療への移行に当たり、移行期医療支援センターに希望する支援内容についての調査になります。小児科医療・成人期医療それぞれに対する不安や不満を含め、患者さん自身のご意見をお聞かせください。あなたの回答が外部にもれることはありません。

5. 1. あなたは成人期医療へ移行したいですか？*

1つだけマークしてください。

- はい
- いいえ
- わからない

⑩循環器病に関する適切な情報提供や相談支援



資料作成
の場聖明教授
(京都府立医科大学循環器内科)

I. 循環器総合支援センターの設置・パンフレット配布



循環器病総合支援センター
脳卒中相談窓口のご案内

子供から大人まで受け付けています

循環器病総合支援センター
脳卒中相談窓口

相談時間
月～金(祝日除く)
午前9時～12時
午後1時～4時

外来診療棟1階
②地域医療連携室

電話
075-251-5824
お電話でも直接お越し
いただいても結構です

誰かに話したい時、相談したい時
いつでも相談支援センターに
ご連絡ください

京都府立医科大学附属病院
〒602-8585 京都市上京区西門外通小橋上6-1-1
循環器病総合支援センター・脳卒中相談窓口
TEL 075-251-5824

京都府立医科大学附属病院

循環器病総合支援センター・脳卒中相談窓口は...

京都府立医科大学附属病院では、患者さんやご家族のほか、地域の方々からのさまざまな疑問や不安、悩みにお応えるために「循環器病総合支援センター・脳卒中相談窓口」を開設しています。

あなたの気持ちに寄り添います

たとえば、こんなとき…

- 自分の病気について説明はされたけどよくわからなかった
- これからのリハビリや運動について
- 毎日の生活について
- 仕事や学校と治療の両立について
- 気持ちがなかなか落ち着かなくて、誰か話を聞いてくれませんか…
- もう一度、検査や検査頻度について聞きたいな…

※相談に受診されなくても無料で相談できます。
※相談された内容が、ご本人の了解なしに担当医をはじめ、他の方にお伝えすることはありません。必ず事前にご相談ください。
※相談の予約はいりません。

※担当医に代わり治療について判断するところはありますので、ご了承ください。

II. 京都府医師会のオンラインネットワーク連携 多職種連携心不全手帳作成および病院間のみならず お薬手帳シールを介して院外薬局とのネットワーク構築



心不全シール		貼付日: / /	
(該当するものに○) HFpEF・HFmrEF・HFefE			
検査日	/ /	/ /	/ /
BNP (pg/mL)			
NT-proBNP (pg/mL)			
目標体重 (kg)			
薬局連携 (✓)			

作成：京都心不全ネットワーク協議会



記録が必要とき

心不全が疑われたときには記録が必要
次のような症状が認められたら記録してください

- 体重増加 (1週間以上)
- 夜間頻呼吸
- 下肢むくみ
- 胸水貯留
- 心不全
- 肺動脈圧 (2週間以上)

自分で行う記録のしかた

心不全の疑いを感じたとき、特に症状が重なり、不安が強いときは、医師や看護師に相談し、記録をお願いします。

※ 体重計測
毎日、体重測定を行いその変化を記録しましょう。

※ 夜間頻呼吸
心不全が疑われたときに記録が必要です。記録していても医師がある、もしくは、記録していない場合に限り「心不全」の記録をお願いします。

※ 心不全
症状が軽微でも、5-10分おきにも繰り返す場合は記録をお願いします。

心不全と向き合っていくために

心不全の予防や治療は、医師を頼り生活の質を高め、より長く健康な生活を送ることにあります。

そのためには、ご自身の健康状態が重要です。この心不全手帳を医師や看護師と連携していただき、医師や看護師と連携していただき、健康な生活を送るために活用してください。

III. オムロン社との共同研究でAIを用いた心不全患者の遠隔モニタリングシステムの開発

京都府 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

京都府

京都府循環器病
対策推進計画

京都府循環器病対策推進協議会

京都大学医学部附属病院

学会等の関連団体、他府県医療機関との
綿密な連携体制が特徴

脳卒中相談・支援

- ・ 脳卒中療養支援センター（2022年4月設置）
- ・ 脳卒中専門医と多職種による支援
- ・ 脳卒中相談マニュアルの活用
- ・ もやもや病支援センター
（小児期から成人期まで一貫した支援）
- ・ 市民公開講座の定期開催、病院HPの活用
- ・ 地域医療機関対象研修会、勉強会等
- ・ 脳卒中患者・家族用冊子の開発

循環器病
総合支援
プロジェクト
委員会

モデル事業
の推進と評
価を支援



京都府立医科大学附属病院

府内の地域医療ネットワークや近隣府県病
院と連携した地域支援体制が特徴

心臓病相談・支援

- ・ 循環器病患者・家族の相談支援窓口設置
- ・ 京都心不全ネットワーク協議会参加施設による
フォロー
- ・ 心不全手帳・心不全手帳アプリ版の活用
- ・ 小児期からの循環器・脳卒中サポート
- ・ アドバンス・ケア・プランニングをサポート
- ・ リハビリテーション支援センターによる府内
リハビリテーションの均てん化
- ・ 高次脳機能障害の就労支援
- ・ パンフレットの作成・YouTube配信等

脳卒中相談窓口マニュアルに記載されたコンテンツの展開



2022年度

脳卒中相談窓口マニュアルの中で、

まずは疾患管理・予防に関する啓発・情報提供から着手

脳卒中療養支援センター

✓ 部門等のご案内

✓ 患者さん・ご家族向け情報発信
脳卒中サンナイ会

✓ 脳卒中相談窓口



脳卒中になった患者さんやご家族へ情報提供・相談支援を行う

●センター長

・特任病院教授 / 宮本 享 Specially Appointed Professor, Kyoto University Hospital. Miyamoto Susumu

▶ 脳卒中患者さん・ご家族向けの資料はこちらから

日本脳卒中学会・日本脳卒中協会・京大病院脳卒中療養支援センター作成の啓発動画を紹介

KU:IP 京都大学医学部附属病院
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL

脳卒中療養支援センター

脳卒中療養支援センターのご案内

脳卒中療養支援センターのホームページでは、患者さん・ご家族の療養生活に役立つ各種情報を提供しています。

現在改訂中

<https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/department/division/strokesupport.html>

動画のご案内

制作・著作：日本脳卒中学会、日本脳卒中協会 作成（厚生労働省2022年度「循環器病に関する普及啓発事業委託費」）
<http://www.jsa-web.org/citizen/85.html>

脳卒中で入院した方・ご家族にお伝えしたいこと

脳卒中は再発する可能性がある病気です。退院後、再発予防のために気をつけること、再発のサインとその際の対応（ACT FAST）について、分かりやすくコンパクトにまとめました。

第一部
脳卒中の治療が始まりました

<https://youtu.be/40rN0ZofGnA>

第二部
脳卒中の治療、次の段階です

<https://youtu.be/hKI8r2FjY7Q>

第三部
自宅退院に向けて

<https://youtu.be/rkBl1bknAtg>

第四部
自宅での心得

<https://youtu.be/EU5UPij-I>

第五部
続・自宅での心得

<https://youtu.be/w-VczG5M7TY>

知りたい！退院後の相談支援

脳卒中で退院した後、生活やリハビリはどうする？誰に相談したらいい？あなたを支援するスタッフがぐわしく答えます

イントロダクション
脳卒中患者さんが自宅に戻りました～生活期のことでお伝えしたいこと～（約7分）

<https://youtu.be/B5H6HWMo4Ts>

生活期 第1話
脳卒中のことでお伝えしたいこと（約25分）

https://youtu.be/O_ABCm3qIV8

生活期 第2話
お金に関することでお伝えしたいこと（約32分）

<https://youtu.be/PiOeF22oUA>

生活期 第3話
これからの生活でお伝えしたいこと（約25分）

<https://youtu.be/KjRhN2Bqm-8>

動画のご案内（つづき）

制作・著作：日本脳卒中学会、日本脳卒中協会 作成（厚生労働省2022年度「循環器病に関する普及啓発事業委託費」）
<http://www.jsa-web.org/citizen/85.html>

知りたい！脳卒中予防・発症時対応

脳卒中とは何か、その予防や起こったときの対応まで、あなたの質問に、11本の動画で分かりやすく答えます

それぞれ2～3分程度のミニ動画ですので、隙間時間にピッタリです

第1話
脳卒中ってなに？

<https://youtu.be/Zp1r0RyCw>

第2話
高血圧

<https://youtu.be/avkyBz2WncA>

第3話
糖尿病

<https://youtu.be/8Yy7-KVol8o>

第4話
不整脈

<https://youtu.be/k9S91MQrIw>

第5話
脂質異常症

<https://youtu.be/ATN7L8xcZTg>

第6話
たばこ

https://youtu.be/4V-edx_LpQ

第7話
太り気味の人

<https://youtu.be/Cyipe2MhiCY>

第8話
塩分

<https://youtu.be/68k70P5NAFo>

第9話
悪い生活習慣

<https://youtu.be/4pQ3UKWgyyz>

第10話
要介護状態や認知症

<https://youtu.be/PHYik12Qd8Y>

第11話
一刻も早く病院へ！

<https://youtu.be/dBRAXtYXsdw>

脳卒中療養支援センターオリジナル資料

医師・看護師・薬剤師・リハビリ担当者・管理栄養士・MSWの多職種が関与し、企画・作成した資料です。皆様の療養生活や脳卒中予防に役立ちますように。

まろんくん

防ごう！脳卒中シリーズ

● 食事と栄養の話（約7分半）

<https://youtu.be/p4nllTzF0lc>

● ～減塩食の12か条 虎の巻～（約5分半）

https://youtu.be/st3HS_PZSzc

啓発パンフレット（PDF）

- 脳卒中療養道しるべ編
- 脳卒中予防編
- リハビリテーション編
- 介護保険編
- 回復期リハビリテーション病院MAP（京都府）
- 区役所/地域包括支援センターMAP（京都市）

※ ホームページより閲覧、ダウンロードいただけるよう現在準備中です。

脳卒中療養支援センター

✓ 部門等のご案内

✓ 患者さん・ご家族向け情報発信
脳卒中サンナイ会

✓ 脳卒中相談窓口



脳卒中になった患者さんやご家族へ情報提供・相談支援を行う

●センター長

・特任病院教授 / 宮本 享 Specially Appointed Professor, Kyoto University Hospital. Miyamoto Susumu

▶ 脳卒中患者さん・ご家族向けの資料はこちらから

「脳卒中サナイ会」

**脳卒中にならない
手遅れにならない
脳卒中に負けない**

脳卒中サナイ会とは、

- ・脳卒中にならない(予防)
- ・手遅れにならない(急性期治療)
- ・脳卒中に負けない(リハビリ)



3つの「ナイ」をスローガンに掲げ、脳卒中に関する情報発信を行う京大病院が設立した患者会です。病院と脳卒中の患者さんおよびご家族の方との顔の見える関係を目指しています。

情報発信内容は、Web市民公開講座・京大病院ホームページでの脳卒中に関連したYouTube配信などのお知らせメールを不定期に送信する予定です。

◆ 脳卒中サナイ会参加方法

- ① 下記のQRコードを読み取っていただくか、URLにアクセスしてください。
- ② お手元に診療カードをご用意の上、質問事項に回答いただき、送信ボタンを押してください。
- ③ 送信後1週間を目安に、メールアドレス登録完了のメールが届きます。

※登録メールが届かない場合は、登録ができていない可能性があります。携帯電話の迷惑メール受信制限などの設定上、登録完了メールが届かないことがあります。
sannaikai@kuhp.kyoto-u.ac.jp からのメールを受信できるように携帯電話の設定をお願いします。



脳卒中サナイ会
登録フォーム: <https://forms.gle/TrVNQDHQTiB36Uvb8>
TEL: 075-751-3013

希望する患者・家族が
QRコードから
メールアドレス・氏名・
診察券番号を登録

脳卒中サナイ会メールアドレス登録フォーム

脳卒中サナイ会は、
・脳卒中にならない(予防)
・手遅れにならない(急性期治療)
・脳卒中に負けない(リハビリ)
の3つの「ナイ」をスローガンに掲げ、脳卒中に関する情報発信を行う京大病院が設立した患者会です。
病院と脳卒中の患者さんおよびご家族の方との顔の見える関係を目指しています。
「情報発信内容」は、Web市民講座や京大病院ホームページでのYouTube配信などのお知らせをメールにて不定期に送信する予定としております。
情報発信の受信をご希望される患者さん・ご家族の方は以下の情報を入力の上、ご登録をお願いいたします。

なお、登録は京大病院に受診をしたことがある患者さん・ご家族に限定しております。登録には診療カード(診察券)に記載されている番号が必要ですので、ご確認をお願いします。

club115@kuhp.kyoto-u.ac.jp (共有なし)
アカウントを切り替える
*必須

京大病院の診療カード(診察券)に記載されている8桁の番号を入力してください。
00-000-000と記載されています。
「-」(ハイフン)は記載していただくなくても結構です。

回答を入力

登録者のお名前(フルネーム)を記載してください。
登録される方が、診療カード(診察券)に記載されている患者さんのご家族の場合は、ご家族のお名前を入力してください。

回答を入力

お知らせを受け取るメールアドレスを入力してください。*

回答を入力

メール登録に関するご案内と注意事項

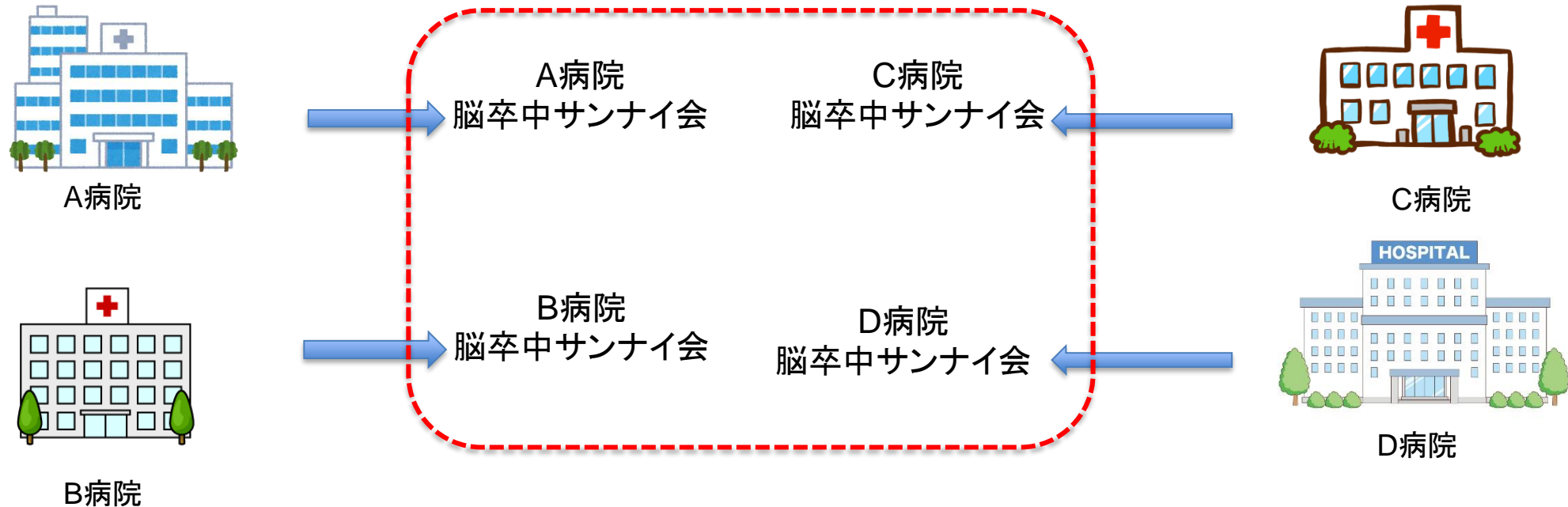
・登録後1週間をめやすにメールアドレス登録完了のお知らせメールが送付されます。登録完了のお知らせメールが届かない場合は、登録ができていない可能性があります。迷惑メールフォルダ内の確認や迷惑メール受信制限の設定などをご確認ください。
サナイ会のお知らせは、sannaikai@kuhp.kyoto-u.ac.jpのメールアドレスでお送りしますので、受信許可の設定をお願いします。
登録完了のお知らせメールが確認できない場合は、お手数ですが改めて登録を行っていただくようお願いいたします。

・sannaikai@kuhp.kyoto-u.ac.jpは、情報発信専用のメールアドレスです。病気や治療に関する個別のお問い合わせは受け付けておりませんのでご注意ください。

脳卒中相談窓口の整備(地域連携)

2022年度目標

PSCコアと一部のPSCが、**自院**かかりつけ患者と**キーパーソン家族**を対象としてそれぞれの「**脳卒中サナイ会**」をつくる



⇒ **京都府内の複数施設の脳卒中患者・キーパーソン家族に一斉に情報提供が可能**

令和4年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業公募要綱

3. 事業内容等

(1) 事業内容

都道府県の循環器病対策推進計画や、循環器病対策推進協議会等の議論も踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。

- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置（電話、メール相談を含む）
- ・地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発

- ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ・相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
- ・その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

なお、脳卒中・心臓病等総合支援センターが設置される施設は、以下の施策の全てを推進できるように努めること。

- ・循環器病患者・家族等に対し、患者の状態や目的に合わせて、入院および外来でのリハビリテーションも含めた医療・介護・福祉・就労・障害に関する相談支援

- ・療養上の意思決定や問題解決、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)等に関する情報提供等

- ・急性期から回復期および維持期(生活期)まで一貫性を持ったリハビリテーション治療の提供等の取組の推進

- ・循環器病に関する、超高齢社会の対応と地域包括ケアシステムとの協働
- ・循環器病に関する、疾患、治療、リハビリテーション、介護、心理サポート、就労支援、障害（心機能障害、高次脳機能障害等）、福祉サービスなどに関する適切な情報提供と相談支援

- ・循環器病患者・家族等に対して、苦痛やその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題への適切な緩和ケアの提供、特に重症例に対し療養と緩和に関する情報提供および支援（精神的なケアを含めた必要な専門領域と連携）

- ・治療早期からの社会復帰を目指した治療計画、介護・福祉制度の利用と、ピアサポート・患者会等の紹介と連携の支援

- ・就労を視野に入れた、急性期から維持期まで一貫した医療の連携支援と、個々の患者の状態に応じた就労評価の推進

- ・医療機関と事業者の連携を支える両立支援コーディネーターを活用した、就労支援・両立支援

- ・小児期・若年期から成人期までの一貫した循環器病の診療支援

- ・先天性もしくは小児期発症の脳卒中、心臓病その他の循環器病を持つ患者・家族に対して、専門的な立場からの医療・福祉の情報提供

ピアサポート・患者会等と連携の支援

小児期発症の脳卒中をもつ患者・家族に対して、医療・福祉の情報提供

■ 部門のご案内

■ 医療費助成制度

■ 市民公開講座

■ 患者さん・ご家族向け情報発信
例: KUHP moya

もやもや病 情報発信ネットワーク

KUHP moya

くーぶ・もや

京大病院に
かかりつけの
もやもや病患者さんは
どなたでも参加
できます

KUHP moya (くーぶ・もや) は
もやもや病に関する情報発信を行うために
京大病院が設立したメール・サービスです。

市民講座のご案内をメールで!



京大病院YouTube配信も!

教えて京大病院



患者さんに役立つ 正確な情報を メールでお届けします

KUHP moyaでは、病院ともやもや病の患者さんおよびご家族の方との顔が見える関係を
目指して、もやもや病に関する情報発信をメールにて不定期に送信する予定です。

情報の受信をご希望される患者さん・ご家族の方は、QRコードもしくは下記URLから申
し込みください。

◆ KUHP moya参加方法

- ①下記のQRコードを読み取っていただくか、URLにアクセスしてください。
- ②お手元に診療カードをご用意の上、質問事項に回答いただき、送信ボタンを押してください。
- ③送信後1週間を目安に、メールアドレス登録完了のメールが届きます。

※登録メールが届かない場合は、登録ができていない可能性があります。

携帯電話の迷惑メール受信制限などの設定上、登録完了メールが届かないことがあります。

moya_kyoto@kuhp.kyoto-u.ac.jpからのメールを受信できるように携帯電話の設定をお願いします。



KUHP moya

登録フォーム:<https://forms.gle/bjFtVBe62gmxyeQ19>

京大病院もやもや病支援センター ピアサポートのご案内

「ピア」とは英語で「仲間」という意味です。ピアサポートとは、同じような立場
や課題をかかえる人がお互いに支え合う集まりのことです。

京大病院では、学習面で困りごとをかかえるもやもや病のお子さん・家族を対象に
した、ピアサポート+講演会を企画しました。

医療・教育の専門家がピアサポーターとなって、情報交換の場を提供したいと考
えています。

I. 日程

2023年3月25日(土) 14:00-17:00

II. 会場

京都大学 医薬研究棟 藤多記念ホール

III. プログラム概要

1. 講演

1) もやもや病における学習障害について (20分)

2) パネルディスカッション (30分)

「多職種・学系関係者によるチームカンファレンスについて」

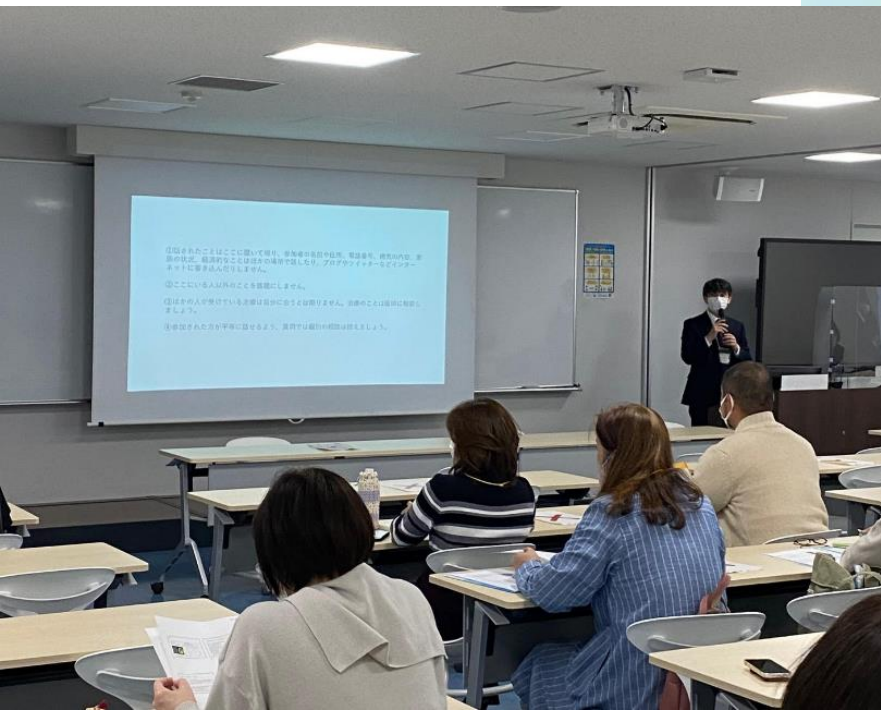
(医師・作業療法士・学校関係者など)

2. 講演質疑 (30分)

(休憩 10分)

3. ピアサポート 90分





"自己紹介だけでもいろいろなタイプのもやもや病の方々のお話を聞けてとても勉強になりました。同じ患者をもつ親御さんともつながれたのも大きな収穫でした。娘は来れなかったのですが次回がもしあれば一緒に参加させたいです。"

もやもや病支援センターの先生方が、このような企画をして頂きました事を心より感謝申し上げます。日々の医療業務だけでもご多忙なのに、患者の心のケアまで有り難く存じます。

該当する子供がいないため、今回は参加していませんが、大変良い企画だと思います。今後も様々な切り口で情報をいただければ、幸いです。一般的な解説もお聞きしたいと思います。

講演は非常にわかりやすい内容でよかったです。

ピアサポートでは、自分の話を真剣に黙って頷きながら聞いてもらい、他の人の話をあるあると頷きながら聞き、日頃の生活の中ではなかなかわかってもらえないしんどさを、あの場で共感できたような気がして、気持ち楽になりました。

お忙しい中、時間の延長も許して下さいありがとうございました。

脳卒中相談窓口マニュアルに記載されたコンテンツのこれからの展開

2022年度

脳卒中相談窓口マニュアルの中で、
まずは疾患管理・予防に関する啓発活動と情報提供から着手

2023年度以後

生活面での課題解決に向けた支援(まず両立支援から)

療養に関する説明と意思決定支援の連携整備

京都府における脳卒中多職種連携 (SCPA-Japan京都府支部)



SCPA Japan京都支部

- 一般社団法人 京都府医師会
- 公益社団法人 日本脳卒中協会京都府支部
- 一般社団法人 京都医療ソーシャルワーカー協会
- 公益社団法人 京都府介護支援専門員会
- 一般社団法人 京都府理学療法士会
- 一般社団法人 京都府言語聴覚士会
- 一般社団法人 京都府作業療法士会
- 一般社団法人 京都府薬剤師会
- 一般社団法人 京都府薬剤師会 病院診療所部会
- 公益社団法人 京都府栄養士会

脳卒中学会 各都道府県脳卒中对策推進委員会・PSC責任者会議

主に急性期施設へのアプローチに留まる

回復期～維持期・生活期への展開には 地域連携・多職種連携のチカラが必要

多職種連携による相談支援体制の整備

連携パスによる医療機関の連携



脳卒中療養相談士(職種A)

脳卒中療養相談士(職種A)

脳卒中療養相談士(職種A)

脳卒中療養相談士(職種B)

脳卒中療養相談士(職種B)

脳卒中療養相談士(職種B)

多職種地域連携

脳卒中療養相談士(職種C)

脳卒中療養相談士(職種C)

脳卒中療養相談士(職種C)

院内多職種連携

脳卒中相談窓口の展開(京都府)

- 京都府内の **脳卒中相談窓口設置機関**の連携(PSCコア及び一部のPSC)
 - PSC責任者会議(年4回開催)
- 京都府内の **多職種・地域連携**
 - SCPA Japan京都府支部の設立と支部ミーティング(年4回開催)
 - 多職種地域連携セミナー(年2回開催)
- 京都府の **循環器病対策推進協議会及び行政**との連携
 - 総合支援センターモデル事業に関する市民公開講座

脳卒中診療の明日へのシナリオ in 京都

～医療・ケアに関する多職種・地域連携を考える～

日時 2023年3月23日(木) 18:30～20:30
形式 Web (Zoom ウェビナー)
共催 日本脳卒中学会 京都府脳卒中対策推進委員会 京都府医師会 京都私立病院協会
 日本脳卒中医療ケア従事者連合京都府支部 第一三共株式会社

ご参加の先生は、下記アドレス、もしくは、右記二次元コードより事前登録をお願いいたします。
https://us02web.zoom.us/join/register/WN_QPSH9yL7bqz_Qarr_cbFw
 参加方法が不明の先生は、弊社担当者、もしくは、下記までお問い合わせください。
 ご参加名、お名前、職種を明記の上、ご連絡頂きます様宜しくお願い申し上げます。
 講師希望連絡先メール: hiraiz.yoshiyasu.px@daichisankyo.co.jp
 担当者: 第一三共株式会社 早井 眞直

※本講演会では日本医師会生涯教育連携認定単位が取得できます。



受付締め切り:
セミナー前

開会挨拶

宮本 享 先生 京都大学医学部附属病院 病院長

セッションⅠ 18:30～19:00 カリキュラムコード: 4. 医療・患者関係とコミュニケーション 0.5単位

座長 宮本 享 先生 京都大学医学部附属病院 病院長

脳卒中相談窓口の進捗と展望

演者 藤本 茂 先生 自治医科大学 内科学講座 神経内科学部門 主任教授

セッションⅡ 19:00～19:30 カリキュラムコード: 15. 臨床問題解決のプロセス 0.5単位

座長 永金 義成 先生 京都第二赤十字病院 脳神経内科 部長

MSWによる意思決定支援

演者 藤井 由記代 氏 社会医療法人大道会森之宮病院 診療部 医療社会事業課 副部長

セッションⅢ 19:30～20:00 カリキュラムコード: 78. 臨床問題解決過程 0.5単位

座長 清水 鴻一郎 先生 一般社団法人京都私立病院協会 会長

脳卒中における緩和と意思決定支援

演者 宮本 享 先生 京都大学医学部附属病院 病院長

セッションⅣ 20:00～20:30 カリキュラムコード: 00. 最新トピックス・その他 0.5単位

座長 水野 敏樹 先生 京都府立医科大学医学研究科 脳神経内科学 教授
 独立行政法人地域医療推進機構 京都鞍馬口医療センター 院長

がんと脳卒中の合併の現状と問題点

演者 平野 照之 先生 杏林大学医学部 脳卒中医学教室 教授

※本日は、ご参加名、ご参加の職種を登録いたします。ご参加の氏名のご登録も、ご参加の職業名および医学部等に所属する医療従事者であることを明記していただく必要があります。尚、ご参加の職種を明記の上、ご連絡頂きます様宜しくお願い申し上げます。

地域多職種連携セミナーを年2回開催

脳卒中診療の明日へのシナリオ in 京都

～医療・ケアに関する多職種・地域連携を考える～

日時 2023年3月23日(木) 18:30～20:30
形式 Web (Zoom ウェビナー)
共催 日本脳卒中学会 京都府脳卒中対策推進委員会 京都府医師会 京都私立病院協会
 日本脳卒中医療ケア従事者連合京都府支部 第一三共株式会社

次回は2023年9月28日(木) 18:30-20:30
 テーマは「両立支援」

脳卒中・心臓病等総合支援センターは
＝京都府における 脳卒中相談窓口のとりまとめ役

脳卒中相談窓口連携会議

2023年5月31日開催

✓ PSC(一次脳卒中センター)施設 :

16施設より23名の担当MSW

(京都府内PSC施設カバー率: 80%)

- ▶ 脳卒中相談窓口担当者の指名
- ▶ 脳卒中相談窓口連携会議の開催

✓ 回復期リハビリテーション病院 :

30施設より36名の担当MSW

(京都府内回復期病院カバー率: 97%)

- ▶ 脳卒中相談窓口担当者の指名
- ▶ 脳卒中相談窓口連携会議の開催
- ▶ 理事長・院長訪問

京大病院
脳卒中療養支援センター

✓ モデル事業実施12機関 :

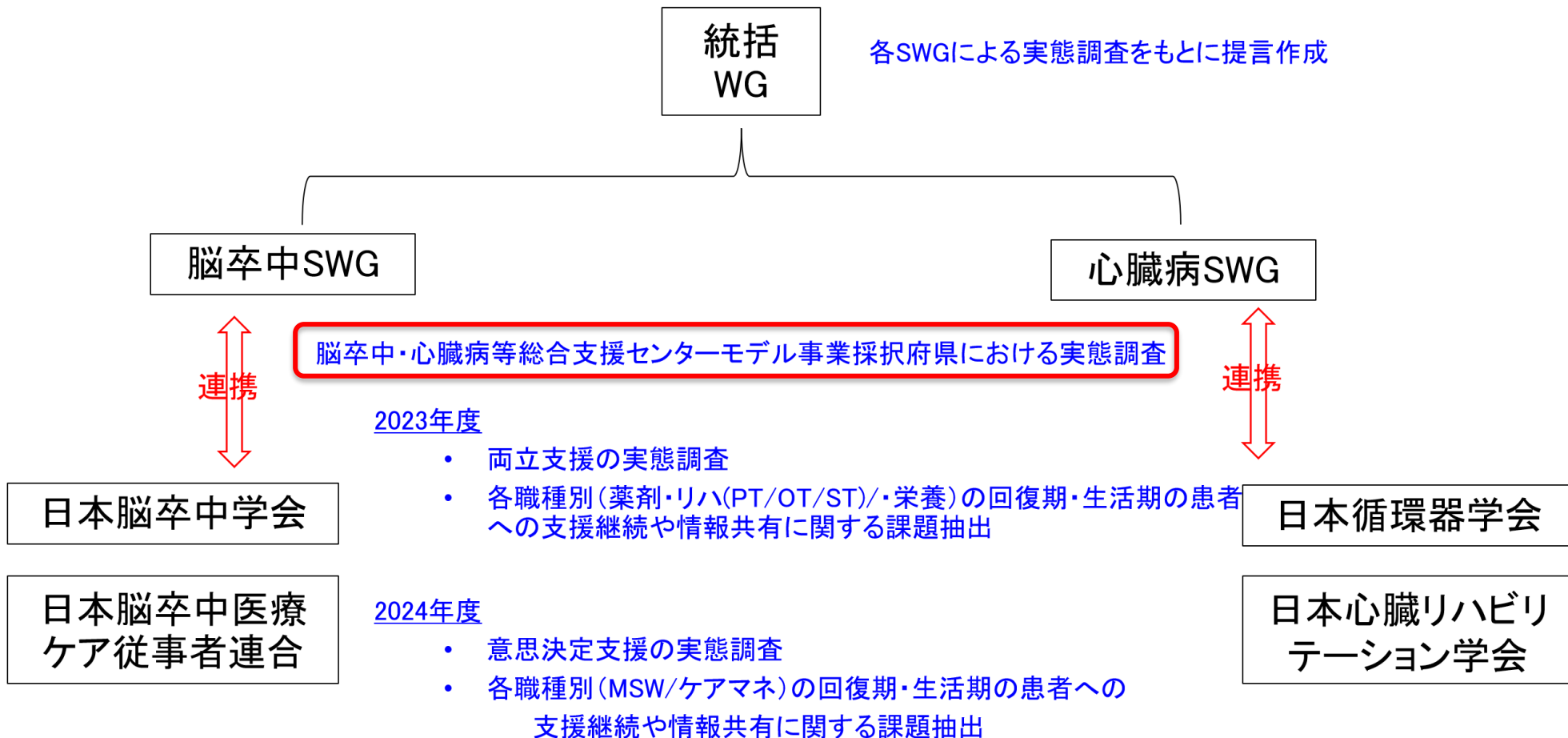
- ▶ 担当医師・担当MSW 間で情報共有
- ▶ 動画資材等の共有

令和5年度 厚生労働科学研究費補助金公募 要項 (1次)

令和5年度厚労科研費FA-18

回復期以降の循環器病に対する多職種連携による患者支援 体制の充実・普及に資する研究(主任研究者:宮本 享)

日本脳卒中学会と日本循環器学会が共同応募して採択



脳卒中・心臓病等総合支援センターの脳卒中に関する事業とは

= 京都府における **脳卒中相談窓口のとりまとめ役**

- 京都府(および循環器病対策推進協議会)に

脳卒中相談窓口事業の方向性を示す

行政との連携

多職種地域連携

脳卒中相談窓口機関の連携

脳卒中・心臓病等総合支援センター事業

国の
循環器病対策推進協議会

京都府の
循環器病対策推進協議会

京都府の循環器病対策推進計画に反映

第3回京都府循環器病対策推進協議会 次第

日時: 11月11日(金)
13:30~15:00
場所: WEB 開催

- 1 開会あいさつ
- 2 協議事項
京都府循環器病対策推進計画の最終案について
- 3 報告事項
脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業について
- 4 閉会あいさつ